

日本航空 0 B 乗員のみなさまへ

整理解雇撤回を支援する「0 B 乗員有志の会」への参加のお願い

2011 年 1 月 20 日

すでにご存知のことと思いますが、昨年 12 月 31 日、日本航空はパイロット 81 名と客室乗務員 84 名に対して整理解雇を強行しました。

しかし、被解雇者 165 名のうち 146 名（運航乗員 74 名）はこの整理解雇を違法、不当であるとして、昨 1 月 19 日、『解雇撤回と原職復帰』を求めて東京地方裁判所に提訴しました。

ところで、肝心の人員削減ですが、日本航空本体では削減目標 1,500 名に対して 1733 名が退職しました。

また日航は路便の整理縮小、人員の削減、労働条件の大幅切り下げなどで、4 月～11 月の決算は当初計画の 250 億円（更生計画は 641 億）を大幅に上回る 1,460 億円の利益を挙げています。

それでも、管財人や経営は、労働組合が提案したワークシェアリングや一時帰休の検討すらも拒否し、話し合いによる解決ではなく、整理解雇に踏み切ったのです。

被解雇者の皆さんは様々な事情で日航に残ることを選択したわけですが、今回のような不当解雇を許せば、現役社員の間には雇用不安が広がり、労働条件の大幅切り下げや病気になっても休めないような職場環境が、今後も続くのではないかと危惧しています。

また、安全性への影響も深刻で、インシデントや事故に遭遇した乗員の救済さえも困難になるのではないかと考えます。

すでに IFALPA を始め、内外の多くの団体が支援の表明をしていますが、私たち 0 B 乗員も解雇撤回の運動を支援する必要があるとして、本日「0 B 乗員有志の会」を立ち上げました。

当面の活動としては、別紙のようなことを予定しておりますが、

私たち発起人は、一人でも多くの 0 B 乗員が「支援する会」の趣旨に賛同して頂き、

それぞれが出来る範囲で結構ですから、活動に参加して下さいようお願いする次第です。

(別紙)

会員の範囲 : 日本航空の 0 B 乗員 (定年以前に退職された乗員を含みます)

活動の内容 : 世話人数名を置き、「情報の伝達」「支援カンパ」など、

会員が参加可能な活動に取り組む。

アドレス・電話番号などの個人情報は、会の活動目的以外には使用いたしません。

世話人 : 片岡 壯介 (代表) 因藤 生郎 岸川 晴夫 月野木 誠

小嵯 誠司 荒木 克巳 丸山 巖